

校長室からひがしなら通心

(H29年度) 茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 5
平成29年5月2日(火)発行

明日からゴールデンウィークです！

明日から5連休の大型連休（ゴールデンウィーク）です。いろいろと楽しいことを計画している人もいることでしょうね。

ところで、5月5日は・・・そう、「こどもの日」ですね。でも、もう一つ大事な日でもあるのです。それは、「立夏（りっか）」。暦（こよみ）の上では、夏の始まりに当たるのです。「夏が立つ」と書いて立夏、とすると春の始まりは・・・「立春（りっしゅん）」、秋の始まりは「立秋（りっしゅう）」、冬の始まりは「立冬（りっとう）」です。「はる・なつ・あき・ふゆ」4つの季節を「四季（しき）」といい、季節と季節の分かれ目を「節分（せつぶん）」といいます。みなさんが豆まきをした2月の節分は、冬と春の分かれ目を表しているのです。

では、1年間で節分は何回あるのでしょうか。それぞれの季節の始まりの前の日が「せつぶん」ですから、全部で4つあります。とすると、春と夏の分かれ目の節分は、5月何日でしょうか。それは5月4日「みどりの日」が、春から夏への季節の分かれ目となります。まとめるとこうなりますね。

5月4日「みどりの日」で節分（せつぶん）季節と季節の分かれ目の日
5月5日「こどもの日」で立夏（りっか）夏の始まりの日

ところで、この歌を知っていますか。「夏も近づく八十八夜…」手遊び歌として昔から親しまれてきた「茶摘み」という歌です。「野にも山にも若葉が茂る…」と続きます。「八十八夜」とは、立春から数えて88日目。今年の立春は2月4日でしたから、八十八夜は今日5月2日になります。立春で春が来て、88日が経過して、まもなく夏がやってくる という意味があります。実際、数日後の5日は、夏の始まりとなる立夏ですね。

季節がはっきりしている日本には、季節を表す言葉がたくさんあります。山や森が多く豊かな緑や水に恵まれている日本ならではの季節行事や祝日もたくさんあります。農家では、種をまいたり、新芽を摘み取ったり、穂を刈ったりといった作業を、こうした歴を目安に行っていました。季節の移り変わりや相談しながら計画的に仕事をしてきた昔の人の知恵に驚かされます。

今年のゴールデンウィーク、「今日は何の日かな?」「日本にはどんな祝日や行事があるのかな」とカレンダーをめくって確認してみるのもおもしろい

ひ	とつにみんなでまともろう！	あ	いさつができる子
が	くりょくと体力をのばそう！	い	っしょうけんめい勉強する子
し	っかりせいかつしよう！	う	んどうが好きな子
な	かよく友だちとすごそう！	え	がおでやさしい子
ら	んらん夢に向かう東奈良っ子！	お	そうじをがんばる子

のではないのでしょうか。何か発見したことがあったら、教えてくださいね。

明日からの5連休、事故に遭わないように。前号にも載せましたが、水の事故には要注意です。子どもだけの川遊びや池遊びは、絶対ダメですよ！

「A」のあいさつ、できてますか？

朝、学校の外で、登校してくるみなさんとあいさつをするのが、校長先生の毎日のスタートです。「おはようございます！」と元気よく「A」のあいさつしてくれると、「おっ、元気があっていいな」と思います。逆に元気のない「おはようございます」（「B」のあいさつ）を聞くと、「どこか悪いのかな?」と心配してしまいます。あいさつって、人の心や気持ちを、そして自分の心や気持ちもきれいにしてくれるんですね。不思議です。いつも元気なあいさつをしたいものですね。

自分から、大きな声で、顔やからだを動かし、元気よく！

「A」のあいさつ	「B」のあいさつ
・自分からする。	・言われてする。
・大きな声です。	・小さな声です。
・顔が動く。	・顔が動かない。
・相手を元気にする。	・相手を元気にさせない。



みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

ルール4 人の意見や考え方を尊重しよう

話し合いをするときには、それぞれが自由に意見を言いあえるようにしよう。何があっても、人の意見を笑ったり、からかったりしてはいけない。

●言いたいことがあるときは、こんな言い方をしよう。「〇〇さんの意見に賛成です。ぼくのを考えをつけ加えるなら・・・」「〇〇くんの意見には賛成できません。いい点をついていると思うのですが・・・」相手に自分の考えはまちがっていると思わせないように、礼儀正しく意見を言おう。